

桜川中学校だより 令和7年度 第5号



令和7年9月16日発行

学びの充実に向けて!

学校が再開し2週間、子どもたちは日々の学校生活を充実させるために、一人一人が責任と自覚をもって取り組む姿勢が見られます。自分たちで考え、試行錯誤しながら課題を解決していく力は、予測が困難とされるこれからの時代を生きるうえで必要な資質・能力です。授業だけでなく学校生活全般にわたり子どもたちの生きる力を育てるために、今後も職員一同全力で取り組んでまいります。



ネスレ：サステナビリティプログラム

9月3日（木）に、スイスのヴヴェに本社を置く世界最大の食品・飲料会社であり、地元の企業でもあるネスレの皆様を講師として、3年生が「サステナビリティプログラム」の授業を行いました。この授業は、ネスレ様の企画を稲敷市及び稲敷市教育委員会からご紹介いただき実現できたものです。神戸の本社から講師の先生が本校にわざわざお越しくださいました。授業の内容は、ネスレの取組を紹介した後で、自分たちの身近にある課題をどのように解決していくかについて、グループで話し合い発表しました。当日は、稲敷市長の寛様や稲敷市教育委員会教育長の田中様をはじめ、多くの皆様に授業の様子を参観していただきました。その中で、子どもたちの発想や提案について、考える視点の素晴らしさや斬新な発想に対してお褒めの言葉をいただきました。

関係者の皆様、ありがとうございました。



前期の学校評価について

夏休み前に、保護者の皆様や生徒の皆さんに、前期の学校評価へのご協力をしていただきました。この学校評価は、学校で行われる教育活動や運営の成果を検証し、その結果を基に学校運営の改善・発展を目指すことを目的としています。そのためには、生徒一人ひとりのよりよい教育環境を整えるとともに、学校・保護者・地域が連携した学校づくりを進めることが大切です。

この結果をもとに、本年度のグランドデザインに掲げた「桜川中ウェルビーイング」のさらなる向上を目指してまいります。

【生徒の声】

- 毎日の給食が美味しいです。
- 周りにいるみんながとても優しいです。
- いつも楽しい授業をありがとうございます。
- わかりやすい授業をありがとうございます。
- もっと細かく教えてほしい。 等

○ 質問項目と回答状況（生徒 100 名・保護者 66 名回答）

(1) 生徒項目

(%)

	質 問 項 目	肯定的 回 答	否定的 回 答
1	先生の指導が工夫されていて、わかりやすい授業が多かった。	99	1
2	自分は、授業中、周りの人と話し合ったり教え合ったり、友達の意見を参考にして試行錯誤しながら学習に進んで取り組むことができた。	90	10
3	自分は、授業に意欲的に取り組み、積極的に発表や質問をした。	75	25
		授業改善に取り組む	
4	タブレット等 I C T 機器を積極的に活用した授業が行われた。	95	5
5	自分が授業中に分からないことやできないことがあったとき、先生はていねいに教えてくれた。	99	1
6	家庭での学習や読書活動に意欲的に取り組むことができた。	83	17
		指導・支援の継続	
7	毎日、学校に行くのが楽しい。	90	10
		10%の生徒への対応	
8	「自分で決める！ということを大切に行動することができた。	95	5
9	先生（学校）は「いじめ」が起きない学級（学校づくり）に努めていた。	99	1
		100%をめざす	
10	先生は自分考え事や悩みがあるときに声をかけてくれる。	99	1
11	学校には、自分にとって安心できる居場所がある。	94	6
12	私たちの学級は、黙働清掃の意義を理解し真剣に取り組んでいる。	95	5
13	先生は、自分の頑張りや取組を認め、褒めたり励ましたりしてくれる。	100	0
		今後も継続していく	
14	自分は、友達、教室や学校等の公共の施設や物を大切に生活することができた。	98	2
15	先生は、生活面で悩みや相談ごとをよく聞いてくれ、親身になって対応してくれる。	98	2
16	学校の行事や生徒会・委員会・部活動等には積極的に参加している。	96	4
17	自分は、普段から登下校の交通ルール（タスキヘルメットの着用）や社会のルールを守って生活している。	100	0
		継続的な言葉かけ	
18	自分は、普段からインターネットや携帯電話・スマホは、ルールやマナーを守って使っている。	96	4
19	自分は、学校のことを家の人と話をすることが多い。	86	14
		家庭での親子の会話	
20	友だち同士や先生、来校者に対して、進んであいさつをすることができた。	99	1
21	自分は、地域の人とふれ合う活動を大切にしている。 （例：チューリップまつり・公民館まつり・社会を明るくする運動等ボランティア）	91	9
22	自分なりに体育の授業や体育的行事に積極的に取り組んだ。	94	6

【保護者の皆様の声】

- 安全に配慮した授業の仕方をこれからもお願いします。
- 登下校も含めた熱中症防止対策として、夏の期間はできる限り軽装で過ごさせてほしい。
- 登下校の安全指導について継続した指導をお願いします。
- いつもありがとうございます。等

(2) 保護者質問項目

	質 問 項 目	肯定的 回 答	否定的 回 答
1	教員は、教科の基礎基本を大切にし、その定着を目指した指導に力を入れている。	96	4
2	教員は、一人一人に配慮しながら学習を進めている。	91	9
3	教員は、お子さんが意欲的に学習に取り組めるような授業改善に努めている。	93	7
4	教員は、タブレット等 I C T 機器を授業で有効に活用させている。	94	6
5	教員は、授業内容について、お子さんの疑問や質問に対して丁寧に対応している。	97	3
6	学校（教員）は、お子さんが家庭における学習や読書活動を意欲的に進められるよう指導・助言を適切に行っている。	92	8
7	学校（教員）は、子ども一人一人の良さを認めてくれている。	94	6
8	学校（教員）は、自分で考え、決定し、行動することの大切さを学校教育を通してお子さんに伝えている。	97	3
9	学校（教員）は、いじめを生まない学校（学級）づくりに努めている。	92	8
10	学校は、子どもたちの悩み事などを把握するためにアンケート等を有効に行っている。	89	11
		悩み等の早期把握のために活用していく	
11	学校（教員）は、お子さんにとって、学校が安心できる居場所となるような声かけをしてくれる。	96	4
12	学校（教員）は、生徒と共に行う黙働清掃（黙って掃除をする）を通して、子どもたちの自己形成意識を育てている。	96	4
13	学校（教員）は、お子さんの頑張りや学校行事や部活動での活躍を認めてくれている。	97	3
14	学校（教員）は、授業や学校生活を通して、お子さんの道徳心を育てるための声かけをしてくれる。	89	11
		道徳の授業や学校生活における声掛けを充実させる。	
15	学校（教員）は、お子さんのことについて保護者と連携がとれている。	91	9
16	学校（教員）は、お子さんが、部活動や学校での活動を通して心身共にたくましさ身に付くよう指導している。	92	8
17	学校（教員）は、お子さんが、交通ルールや社会のルールをしっかりと守って生活できるよう適切に指導している。	97	3
18	学校（教員）は、お子さんが、普段からインターネットや携帯電話・スマホを、ルールやマナーを守って使うことができるよう家庭でのルールづくりを呼びかけている。	97	3
19	学校は、学級懇談や各種たより、学校ホームページ等で学校の様子を伝えている。	94	6
20	学校は、保護者の方や地域の願いに応えようと努めている。	94	6
21	学校（教員）は家庭への連絡等保護者に対して丁寧に対応している。	96	4
22	学校（教員）の施設・設備は整っており、お子様を安心して通わせることができている。	97	3